



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

本社所在地 東京都中央区日本橋室町四丁目 1 番 11 号
会社名 堀田丸正株式会社
代表者 取締役社長 大西 雅美
(コード番号 8105 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 矢部 和秀
(TEL 03-3548-8139)

平成30年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表しました平成 30 年 3 月期の連結通期業績予想と本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値の差異について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	111	110	75	1.57
今回実績(B)	7,703	68	56	100	2.10
増減額 (B - A)	203	△43	△54	25	—
増減率 (%)	2.7	△38.7	△49.1	33.3	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	7,488	86	108	86	3.87

2. 差異の理由

当社グループは、平成 29 年 6 月 28 日に RIZAP グループ株式会社に対し第三者割当による新株を発行し、新たに RIZAP グループに加わったことに伴い、これまで実現できなかった経営資源の選択と集中を実行し、RIZAP グループとのシナジーを最大限活かし、当社グループの体質強化と成長を実現するための構造改革を実施しております。

事業ポートフォリオの再構築や、基幹事業や成長が見込める収益事業を強化していく一方で、既存の厳しい環境の事業構造改革に着手してまいりました。第4四半期期間に和装事業の在庫に関して再評価を行ったことにより42百万円の評価損失を売上原価に計上しております。これに伴い、営業利益及び経常利益は同額悪化しております。

親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、平成 30 年 3 月 28 日付で公表いたしました「固定資産売却益の計上に関するお知らせ」のとおり特別利益を計上したことから、当初の業績予想数値より 25 百万円増加しております。

以 上